

「熊本発の創薬研究」

熊本大学から発信します

平成24年

日時

11月17日 土 13:00～(受付 12:30～)

場所

東京工業大学キャンパス
イノベーションセンター1F 国際会議場
東京都港区芝浦3-3-6

対象者

薬学系の大学、研究所、企業の学生、研究者、その他関係者

お申込

熊本大学東京オフィス

Tel 03-5440-9093 E-mail:kuma-u.tokyo@friend.ocn.ne.jp

※TEL、FAX 又は Eメールによりお申し込みください。

※Eメールにてお申し込みの場合は、貴社名・団体名・ご連絡先・お名前をご記入ください。

※ご記入頂いた個人情報は、当イベントのお申し込み受付及び今後のご案内のみに使用します。

講師

熊本大学薬学部先端DDS学寄附講座教授
慶應義塾大学薬学部分析科学講座主任教授

水島 徹 MIZUSHIMA Toru

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)教授

高濱 和夫 TAKAHAMA Kazuo

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)准教授

黒崎 博雅 KUROSAKI Hiromasa



講師紹介

熊本大学薬学部先端DDS学寄附講座教授
慶應義塾大学薬学部分析科学講座主任教授

水島 徹 MIZUSHIMA Toru



Title 2010年問題（新薬が産まれない）の解決策

最近、発売される新薬の数が年々減少しています（2010年問題）。この主な原因は、予想外の副作用が発生したり、ヒトで十分な体内動態が得られなかったりするため、臨床試験が失敗することです。そこで私が注目しているのは、ヒトでの安全性と体内動態が確認されている既存薬の作用を、DNAチップなどの最新の研究手法を用いて分子レベルで調べ、そこから得られた情報を活かして新しい医薬品を開発する研究です。本講演では、この研究戦略について概説します。

Profile 水島 徹 / 薬学博士
熊本大学薬学部先端DDS学寄附講座
慶應義塾大学薬学部分析科学講座 所属
◇専門分野…分子生物学、細胞生物学、薬理学、DDS、有機合成薬物動態学

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)教授

高濱 和夫 TAKAHAMA Kazuo



Title 鎮咳薬から夢のくすりへ -GIRKチャンネルを標的にして-

私は、長年にわたる中枢性鎮咳薬の作用機序に関する研究の過程で、本薬物がGタンパク質共役型内向き整流性Kイオン(GIRK)チャンネルの活性化電流を抑制することを見出しました。本セミナーでは、我々が見出した、治療抵抗性のうつ病や排尿障害など様々な難治性脳疾患モデルに対する中枢性鎮咳薬の顕著な改善作用を紹介しながら、GIRKチャンネルを標的にした、夢のような、新規脳疾患治療薬の開発の可能性について考えて行きます。

Profile 高濱 和夫 / 薬学博士
熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)
環境分子保健学分野 所属
◇専門分野…生物系薬学、環境系薬学、神経科学一般

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)准教授

黒崎 博雅 KUROSAKI Hiromasa



Title メタロ-β-ラクタマーゼ阻害剤の開発

2009年にインドから帰国したスウェーデン人からNDM-1(New Delhi Metallo-β-lactamase)と呼ばれる新型のメタロ-β-ラクタマーゼが分離されました。

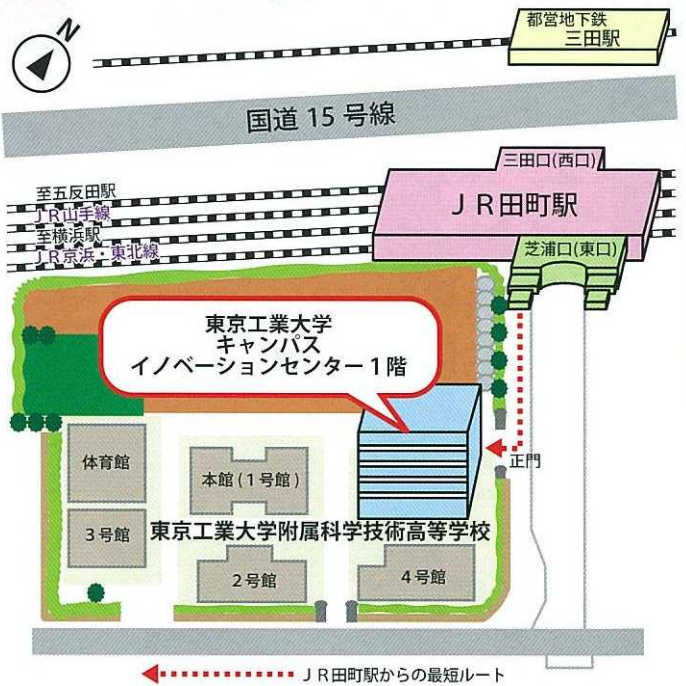
これまでのメタロ-β-ラクタマーゼは、その殆どが緑膿菌やセラチア菌から産生されていましたが、NDM-1は大腸菌や肺炎桿菌から分離され、今や英国をはじめ世界的な問題となっています。メタロ-β-ラクタマーゼは、活性中心にZn(II)を含有し、ペニシリンからカルバペネムまでほぼ全てのβ-ラクタム剤を分解します。

現在臨床使用されているクラブラン酸等のセリンβ-ラクタマーゼ阻害剤に対して全く感受性を示さず、メタロ-β-ラクタマーゼに対する阻害剤の早急な開発が求められています。

本セミナーでは、私達のメタロ-β-ラクタマーゼ阻害剤の研究開発への取り組みについて紹介します。

Profile 黒崎 博雅 / 薬学博士
熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)
構造機能物理化学分野 所属
◇専門分野…物理系薬学、創薬化学、化学系薬学、環境系薬学

交通アクセス



参加申込書 (FAX用)

平成24年度 熊本大学東京オフィスセミナー

熊本大学から発信します「熊本発の創薬研究」

FAX 03-5440-9093 (熊本大学東京オフィス宛)

貴社名・団体名		
連絡先	住所	〒
	TEL/FAX	
	E-mail	

参加者	
お名前	部署名・役職名
お名前	部署名・役職名
お名前	部署名・役職名